

防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 12 号

平成 29 年 12 月 1 日

寄宿舎生は避難訓練のスペシャリスト！

本校の寄宿舎では、「災害発生時に自分の命を守る行動が取れるようになる!」を目標に、月に 1 回、年間 11 回、災害の種類や発生場所、発生時刻のパターンを変えながら訓練を行っています。

その中でも、地震想定訓練は年に 3 回あります。地震の場合、学校と同じように「シェイクアウト」の指導を徹底しています。学校では、机の下に入り頭を守るように伝えていますが、寄宿舎には机がありません。そこで、身近にある物で頭を守るように伝え、訓練を繰り返し行っています。

シェイクアウト

1 2 3



身近な物って、例えばこんな物・・・



＜実際の様子＞



舎室でシェイクアウト!



頭を守りながら避難

< 災害はいつ起きるか分からない >

本校の避難訓練は例年、教師の目が行き届く授業時間中に行われています。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。休み時間に遊んでいるとき、一人で廊下を歩いているとき、登下校中など、大人の目の行き届かないときに起こる可能性もあります。そんなときは、自分で自分の身を守らなくてはなりません。

福井市のある地区では、小学校の下校中に大地震が起きたという想定で避難訓練が行われました。県内でも初めてだそうです。下校途中で「地震です!」と書いた看板を持った大人に遭遇したら、シェイクアウトの姿勢（ランドセル等で頭を守る）を取り、その後、最寄りの一時避難場所に行くという流れでした。

本校でも今後、子どもたちに、大人が近くにいなくても自分の身を守る術を教えていけたらと考えています。御家庭でもそのような場面があるかもしれません。「もし今地震が起きたらどうする?」などという会話を常日頃から家族でできるといいですね・・・。



ランドセルでシェイクアウト!



< 本校の備蓄品について >

本校PTAでは、毎年、災害時の食料と飲料水を備蓄しています。平成25年度から備蓄を開始しており、今年で5年目になりました。保管場所は寄宿舎南側の倉庫です。

現在の備蓄は「五目ご飯」「白いご飯」「飲料水」「パン（缶詰）」です。パンはご飯が食べられない児童生徒用に昨年度48食分購入しました。児童生徒と教職員がとる食事の1日3食分を想定しています。

賞味期限が切れそうになったら、児童生徒に非常食体験として食べてもらうように考えています。御家庭でも、いざというとき我が子は何を食べられて何を食べられないかを考えて、備えをされるとよいかと思います。



学校ホームページURLはこちら

http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。